

橋梁保全技術研修・判定試験・ 資格登録・登録更新のご案内

2024
令和6年

ニュー・ブリッジは、臨床的な橋梁維持管理技術を学べる研修施設です。

【重要】2024年度 橋梁保全技術研修(常設研修)に関するお知らせ

◆基礎コース、検査点検コースの受講料改訂について

今年度より常設研修(基礎コース、検査点検コース)の受講料を改定いたします。適正な研修運営体制維持のためにご理解賜りますようお願い申し上げます。

◆常設研修受講申込(オンライン)について

申込者数が定員を超えた場合は、抽選により受講者を決定いたします。(2023年度より実施)

詳細は、本案内の「1. 橋梁保全技術研修(常設研修)」ならびに、橋梁長寿命化推進室のWEBサイトに掲載される各コースの「受講者募集のご案内」をご確認ください。

(募集案内公開予定:検査点検コース3月中旬、診断評価コース4月上旬、基礎コース7月上旬)

2024年度の橋梁保全技術研修、判定試験、資格登録、登録更新についてご案内いたします。

目次

- 1. 橋梁保全技術研修(常設研修)P1-3
- 2. 判定試験P3-4
- 3. 登録申請P4-5
- 4. 登録更新講習P5-6
- 5. オーダーメイド研修、見学、施設使用 P6



橋梁長寿命化推進室 WEB サイト
<https://www.n2u-bridge.jp/>

1. 橋梁保全技術研修(常設研修)

コース名	研修の概要
(1) 基礎コース	橋梁維持管理の基礎知識が学べるコースです。 橋梁維持管理の知識を持たない方や実務経験の無い方でも受講できます。
(2) 検査点検コース	国土交通省橋梁定期点検要領に基づく点検実務、詳細調査および劣化機構の推定についてニュー・ブリッジを使用して学習できるコースです。
(3) 診断評価コース	橋梁の劣化予測、性能評価および補修・補強対策について学習できるコースです。

各コースの研修内容等

(1) 基礎コース

①プログラム (2日間)

プログラム		形態
1日目	日本の橋梁の現状、橋梁構造の概説、橋梁点検の重要性、維持管理の流れ	講義
2日目	点検手法・非破壊検査機器の原理、橋梁の変状	講義
	実橋の劣化	ニュー・ブリッジ見学
	点検機器の計測実習	ニュー・ブリッジ実習

②開催期日、定員

	期日	定員※変更の可能性あります。
第25回	2024年9月12日(木)、13日(金)	約30名
第26回	2024年11月7日(木)、8日(金)	約30名

③受講料 15,000円(税込)

(2) 検査点検コース

①プログラム (3日間)

プログラム		形態
1日目	日本の橋梁の現状、基準の変遷、変状の概説、劣化機構の推定(鋼部材)	講義
2日目	劣化機構の推定(コンクリート部材)、維持管理の流れ、点検手法(非破壊検査)、国土交通省定期点検要領・点検調書の解説、点検の着目点	講義
	実橋の劣化	ニュー・ブリッジ見学
3日目	ケーススタディ(劣化機構の推定) 実橋の点検実習(損傷図作成、非破壊検査実習)	ニュー・ブリッジ実習

※検査点検コースは、実務経験年数等の受講資格が必要です。WEBサイトにてご確認ください。

②開催期日、定員

	期日	定員※変更の可能性あります。
第56回	2024年5月15日(水)～17日(金)	約27名
第57回	2024年6月19日(水)～21日(金)	約27名
第58回	2024年7月17日(水)～19日(金)	約27名
第59回	2024年7月31日(水)～8月2日(金)	約27名
第60回	2024年12月11日(水)～13日(金)	約27名

※第60回検査点検コース修了者は、翌年度(2025年度)の橋梁点検士判定試験から受験可能となります。

③受講料 30,000円(税込)

(3) 診断評価コース

①プログラム (2日間)

プログラム		形態
1日目	診断の重要性と技術者倫理、構造物の診断(評価・判定)、劣化予測～性能評価～判定(RC橋・PC橋、鋼橋)	講義
	実橋の劣化(希望者のみ)	ニュー・ブリッジ見学
2日目	対策工(RC橋・PC橋、鋼橋) ケーススタディ・道路橋の維持管理全般(橋梁構造物全般、鋼橋の疲労き裂について)	講義

※診断評価コースは、実務経験年数等の受講資格が必要です。WEBサイトにてご確認ください。

なお、**当室の「橋梁点検士」に登録されている方も受講可能です。**

※事前課題があります。

②開催期日、定員

	期日	定員 <small>※変更の可能性あります。</small>
第11回	2024年7月4日(木)、5日(金)	約30名

③受講料 20,000円(税込)

(4) 各コースの共通事項

- ①研修は全て名古屋大学東山キャンパスで実施します。
- ②研修修了者には名古屋大学より「修了証」が発行されます。判定試験の受験資格に必要な「修了証」の有効期間は発行日から3年間です。(基礎コース除く。)※「2.(3)受験資格」参照
- ③土木学会認定のCPDプログラムです。
- ④プログラム、開催日時は都合により変更する場合があります。
- ⑤受講申込等の詳細については、WEBサイトに掲載される各コースの「受講者募集のご案内」をご確認ください。(募集案内公開予定：検査点検コース3月中旬、診断評価コース4月上旬、基礎コース7月上旬)

2. 橋梁点検士および橋梁診断士 判定試験

(1) 試験の目的

橋梁維持管理の知識・技術の保有レベルを確認するための試験で、橋梁の維持管理に関する知識を有する技術者の育成を通じて社会に貢献することを目的としています。

(2) 試験の種類

橋梁点検士判定試験は検査点検コース、橋梁診断士判定試験は診断評価コースの修了者を対象とした試験です。合格者には国立大学法人東海国立大学機構より、それぞれ橋梁点検士、橋梁診断士の合格証を発行します。

(3) 受験資格

次の表に該当する修了証をお持ちの方が対象です。ただし、既に合格証をお持ちの場合は対象となりません。

注意事項 <2021年度受験対象者への修了証有効期間延長(1年)について>

2021年度試験日の2021年9月26日(日)は、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により愛知県に「緊急事態宣言」発出期間であったことを考慮し、特別措置として2021年度受験対象者の修了証有効期間を1年延長しました。対象は次の表をご確認ください。ただし合格者を除きます。

2024年度 橋梁点検士判定試験の受験対象となる回

コース名	回	修了証交付日	判定試験受験可能年度
検査点検コース	第40回	2021年 1月 27日	2024年度判定試験まで受験可能 ※特別措置により1年延長
	第41回	2021年 2月 4日	
	第42回	2021年 2月 9日	
	第43回	2021年 5月 21日	
	第44回	2021年 6月 25日	
	第45回	2021年 7月 16日	
	第46回	2021年 8月 6日	
	第47回	2022年 5月 20日	2024年度判定試験まで受験可能
	第48回	2022年 6月 24日	
	第49回	2022年 7月 22日	
	第50回	2022年 8月 5日	2025年度判定試験まで受験可能
	第51回	2023年 5月 19日	
	第52回	2023年 6月 23日	
	第53回	2023年 7月 21日	
	第54回	2023年 8月 4日	
	第55回	2023年 12月 15日	2026年度判定試験まで受験可能
	第56回	2024年 5月 17日 (予定)	
	第57回	2024年 6月 21日 (予定)	
	第58回	2024年 7月 19日 (予定)	
第59回	2024年 8月 2日 (予定)		

2024年度 橋梁診断士判定試験の受験対象となる回

コース名	回	修了証交付日	判定試験受験可能年度
診断評価コース	第8回	2021年 7月 21日	2024年度判定試験まで受験可能 ※特別措置により1年延長
	第9回	2022年 7月 12日	2024年度判定試験まで受験可能
	第10回	2023年 7月 11日	2025年度判定試験まで受験可能
	第11回	2024年 7月 5日 (予定)	2026年度判定試験まで受験可能

(4) 試験実施日、会場

試験	試験日	試験予備日	会場
橋梁点検士判定試験 橋梁診断士判定試験	2024年 9月 29日 (日)	2024年 10月 5日 (土)	名古屋大学 東山キャンパス

- ※1) 試験詳細はWEBサイトの「判定試験案内」をご覧ください。(7月上旬掲載予定)
- ※2) 試験日は都合により変更する場合があります。
- ※3) 荒天等により開催中止になった場合、予備日に振替します。
- ※4) 第60回検査点検コース修了者は、翌年度(2025年度)から受験が可能です。

(5) 受験料

橋梁点検士受験料	10,000円 (税込)
橋梁診断士受験料	25,000円 (税込)

3. 橋梁点検士および橋梁診断士資格登録、登録更新申請

(1) 登録の目的

橋梁の点検・診断の業務にかかわる技術者の技術力を判定し登録することおよびその活用が図られることにより、橋梁の点検・診断にかかわる業務を円滑かつ適正に遂行し、業務の技術水準の向上と点検・診断にかかわる技術者の社会的認知と地位向上を図ることを目的としています。

(2) 登録要件

橋梁点検士の登録は橋梁点検士判定試験の合格者、橋梁診断士の登録は橋梁診断士判定試験の合格者が、橋梁長寿命化推進室に登録申請を行うことが必要となります。また、登録有効期限の過ぎた方、各判定試験の合格から4年を経過して登録を行おうとする場合は、登録更新講習の受講が必要となります。※「4. 橋梁点検士および橋梁診断士登録更新講習」参照

(3) 登録受付期間

資格名称	登録期間
橋梁点検士	資料請求（オンライン）：2024年12月2日（月）～12月13日（金）
橋梁診断士	登録申請（郵送）：2025年1月6日（月）～1月31日（金）

※1）登録の詳細は、WEBサイトの「登録の手引き」をご覧ください。（11月下旬掲載予定）

※2）登録期間、ご案内方法は都合により変更する場合があります。

※3）登録更新および再登録の申請も、同時期に「登録申請（郵送）」を受付します。ただし、登録更新講習を修了している必要があります。（登録更新修了者には申請書類を郵送しますので、「資料請求（オンライン）」は不要です。）

(4) 登録料および登録更新料 5,000円（税込）

(5) 登録申請時期と登録有効期間

登録申請は判定試験合格年度から4年間、任意の年に行うことができます。ただし、合格翌年度から3年以内に登録する場合は、登録の有効期間が短縮されます。また、登録有効期限を過ぎた方や合格後4年を経過して登録する方は、登録更新講習の受講が必要となります。

4. 橋梁点検士および橋梁診断士登録更新講習

(1) 目的

登録更新において、橋梁の点検・診断に関する最新の知見の習得を行い、橋梁の点検・診断に必要な知識・技術の維持向上を図ることを目的としています。

(2) 受講要件

橋梁点検士または橋梁診断士に登録し「登録有効期限が2025年3月31日」（登録有効最終年度）の方が受講の対象となります。6月下旬にご本人に通知予定です。

他に登録有効期限切れの方、または合格翌年度から3年度を経過しており新規登録を希望する方も対象となります（下表参照）。申込方法等は、6月下旬にWEBサイトにて公開予定です。

2024年度 橋梁点検士・橋梁診断士 登録更新講習受講対象者

登録更新/ 再登録/新規登録	対象者	登録証有効期限
登録更新	登録有効期限 2025年3月31日の登録証をお持ちの方	2025年3月31日
再登録	登録有効期限 2024年3月31日以前の登録証をお持ちの方で、登録更新をしていない方	2024年3月31日以前
新規登録	2020年度以前に判定試験に合格し、これまでに登録をしていない方	未登録（以下期間の判定試験合格者） 橋梁点検士：2013年度～2020年度 橋梁診断士：2016年度～2020年度

(3) 橋梁点検士登録更新講習

以下の期間内に、小論文を提出のうえ、e-ラーニングを受講してください。

①期間

課題	期間	備考
小論文提出	2024年9月13日（金）締切	小論文の提出およびe-ラーニングの受講（受講証明書発行）をもって修了
e-ラーニング受講	2024年10月30日（水）～11月12日（火）	

※1）登録更新講習の詳細は、WEBサイトの「登録更新講習のご案内」をご覧ください。（6月下旬掲載予定）なお、期間等は都合により変更する場合があります。

※2）検査点検コースの研修テキストを送付します。

※3）土木学会認定のCPDプログラムです。

※4）登録（更新）申請は、別途手続きが必要です。定められた期間内に手続きをしてください。登録申請を行わない場合、登録更新となりませんのでご注意ください。

②受講料 9,000円（税込）

(4) 橋梁診断士登録更新講習

以下の期間内に、e-ラーニングを受講のうえ、小論文を提出してください。

①期間

課題	期 間	備考
e-ラーニング受講	2024年10月2日(水)～10月15日(火)	e-ラーニングの受講後(受講証明書発行)、小論文提出をもって修了
小論文提出	2024年10月4日(金)～10月18日(金)	

※1) 登録更新講習の詳細は、WEBサイトの「登録更新講習のご案内」をご覧ください。(6月下旬掲載予定)なお、期間等は都合により変更する場合があります。

※2) 診断評価コースの研修テキストを送付します。

※3) 土木学会認定のCPDプログラムです。

※4) 登録申請については、別途手続きが必要です。定められた期間内に手続きをしてください。登録申請を行わない場合、登録更新となりませんので、ご注意ください。

②受講料 9,000円(税込)

5. オーダーメイド研修(以下、OM研修)、見学、施設使用

OM研修は、団体(行政・民間・業界団体・学会など)を対象とした、ニュー・ブリッジでの実習が主体の有料研修です。見学ならびに施設使用は無料ですが、施設使用には審査を要します。

受付は随時行っております。下記の問合せ先までご連絡ください。実施日は他の研修等と調整のうえ、決定させていただきます。

6. 問合せ先

《問合せ先》

国立大学法人東海国立大学機構
名古屋大学 橋梁長寿命化推進室

☎ 052-789-3726

🌐 <https://www.n2u-bridge.jp/>

✉ N2U-BRIDGE@civil.nagoya-u.ac.jp



お問合せフォーム

<https://n2u-bridge.jp/formmail/fms/d7d49a139>

【支援】橋梁保全技術研修協議会 参加機関

大 学：富山県立大学、金沢大学、福井大学、岐阜大学、愛知工業大学、中部大学、豊橋技術科学大学、名古屋工業大学、名城大学

行 政 機 関：国土交通省中部地方整備局、富山県、石川県、福井県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県
名古屋市、静岡市、浜松市

道 路 管 理 者：愛知県道路公社、名古屋高速道路公社

民 間 業 界 団 体：一般社団法人 プレストレスト・コンクリート建設業協会
一般社団法人 日本橋梁建設協会
一般社団法人 建設コンサルタンツ協会中部支部

ニュー・ブリッジ事業者：名古屋大学、中日本高速道路(株)、中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋(株)

ニュー・ブリッジ
N2U-BRIDGEとは・・・

全国で更新に伴い撤去された橋梁の部材を再利用して構築した、原寸サイズの研修・研究施設です。

2024年3月